

～～第8484回～～

アサヨ峰

～H30. 7. 22-23～

異常気象の続く近年、今年も6月から真夏日が多く6/18に大阪北部地震・7/6-8には西日本豪雨により各地で甚大な被害が発生している。今日も暑さは厳しいが心配した天気も良く、静岡駅よりレンタカーで出発。奈良田からはマイカー規制のため山梨交通の専用バスに乗り換え広河原へ着く。駅舎2Fのインフォメーションセンターに登山届を投函。登山の注意事項を皆で確認して林道を20分程歩くと広河原峠への登山口。ここでストレッチ運動を行い早速、樹林帯の急登を登る。流れる汗を拭きながら広河原で係員から「あなたたちはツウだね。ここの急登を登る逆コースを歩くんだね。」と言われたのを思い出した。我々は早川尾根小屋(無人)にゆっくり泊まるためこのコースを決めたのだ。ザック内の飲食材料の重み(特にアルコール類)が身体にくい込む。針葉樹林帯のため直射日光を遮ってくれるので助かるが見晴らしは良くない。それでも時々樹木の間から見える北岳に癒される。徐々に樹木もコメツガ・シラビソなどの大木が斜面を覆うようになる。疲れもピークとなったころゴゼンタチバナの花が出迎えてくれた。ここが広河原峠、展望はない。鳳凰三山から潜水峠までの間を早川尾根と呼ぶようだ。ここから宿泊場所「早川尾根小屋」までは先ほどまでの急登とは異なりなだらかな尾根道を歩く。見晴しも良くなり振り返ると鳳凰三山が真近かに見え、その右隣奥に富士山も並ぶ。尾根道の斜面にはバイケイソウが群生している。広河原峠から1時間弱で小屋に到着。水場を心配したが、若干細いが冷たくおいしい水が出ている。小屋内の掃除と寝床を確保、小屋前に仮設宴会場を作り夏山の楽しいひととき・・・(日没まで続く)。翌日も天気は良い。朝食を済ませ小屋内を片付け出発。いくつかのピークをアップダウンするが前日の急登から比べると気持ちの良い尾根歩きだ。後方の地藏岳のオベリスクがだんだん小さくなっていく。道はハイマツとゴロゴロした岩の縦走路となる。3時間半ほどで早川尾根の最高峰「アサヨ峰」に着く。南アルプス北部の山々が一望できる大パノラマだ。勇壮な甲斐駒ヶ岳がすぐ近くで、こちらにもおいでと呼んでいるように感じる。反対側に振り返ればなだらかな山容の仙丈ヶ岳が対照的だ。北岳・仙丈ヶ岳・甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山・富士山といつまで見ても飽きない。野呂川の川筋もきれいに見える。ここからまた岩がゴロゴロの縦走路を栗沢山に向かう。栗沢山からは甲斐駒ヶ岳が本当に手が届くようだ。景色に見とれて休憩が多くなったため、栗沢山からは潜水峠を廻らず、直接北沢峠に向かい急坂を下る。北沢峠から広河原へ行くバス時刻に遅れないように急ぐ。ギリギリでバスに乗り込みセーフ、奈良田には予定通り到着。途中、西山温泉(湯島の湯 550円)の露天風呂で汗を流し静岡への帰途についた。

参加者：7名(静岡東7)

天候：晴れ

地図：鳳凰山・仙丈ヶ岳

コースタイム：静岡駅北口 600＝奈良田 845-900＝広河原 945-1015…広河原峠入口  
1040-50…広河原峠 1400…早川尾根小屋 1500 (泊) 640…早川尾根ノ頭…ミヨシノ頭…  
アサヨ峰 1000-25…栗沢山 1150…長衛小屋 1320…北沢峠 1330＝広河原 1400＝奈良田  
1445＝西山温泉(入浴)1500-1600＝静岡

記録：静岡東支部 H. F

